

文化のチカラ

特集：若者とブンガク



Contents

- 特集：若者とブンガク 1～5
- 登録文化団体・市内施設文化イベントカレンダー 5～7

特集：若者とブンガク

～はじめに～

文学は芸術なのか

かつて文学は、芸術文化の領域で大きな存在感を示していました。夏目漱石や森鷗外に代表されるように、文学とは“文豪”と呼ばれる人たちが書く、芸術性の高いものだという認識が広く国民の間に浸透していました。

しかし、現代における文学の地位は、かつてないほど揺らいでいるように見えます。純文学と大衆文学との境界はもちろんのこと、アニメやマンガなどとの間にあった確固たる境界すらも時代とともになくなっているようです。

若者は時代の中心だった

かつて若者は時代の中心でした。ファッションであったり、音楽であったり、思想であったり、その時々若者の間で流行しているものを探れば、おのずとその時代が見えてくるような存在でした。

文学においてもしかりです。村上龍や村上春樹が世に出たのも、当時の若者の圧倒的な共感や支持があったからこそです。



村上龍
「限りなく透明に近いブルー」
(講談社)

1976年（昭和51年）に発表されたデビュー作にして芥川賞受賞作。伝統的な「自意識」を排した、渾身の文体で、日本文学に新しい地平を切り開いた記念碑的作品。

では、いまの若者はどうでしょうか。若者は時代を象徴する存在なのでしょうか。

それとも、急速に進む少子高齢化の時代において、若者をそう捉えること自体が時代に合わなくなっているのでしょうか。



村上春樹
「ノルウェイの森」
(講談社)

1987年（昭和62年）に発表された長編恋愛小説。村上作品には珍しい「リアリズム小説」でありながら、彼の名を一躍有名にした作品。

若者を通して文学を考える

“文学の危機”という言葉は、これまでも多くの識者によって言われてきました。しかし、現代において本当に文学の価値は失われてしまったのでしょうか。それとも時代に合った装いでしぶとく生き残っているのでしょうか。

若者もかつてのような影響力はないかもしれませんが、時代の空気を取るのはやはり若者だと思います。

現代における文学とは何か。若者を通して考えてみました。

～若者に聞く～

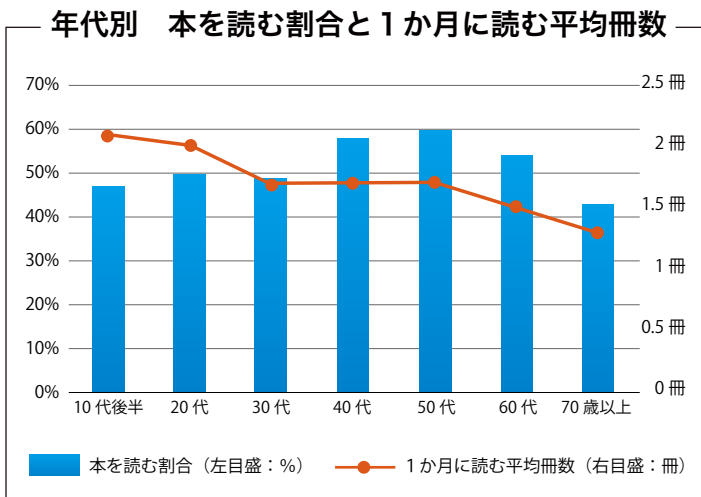
若者は本を読んでいるのか

本題に入る前に、そもそもいまの若者はどれくらい本を読んでいるのでしょうか。

毎日新聞社が発行している「読書世論調査2015年版」によると、普段本を読むと答えた割合は、10代後半で47%、20代で50%、30代で49%となっています。その他の年代では、70歳以上を除き54～60%の割合となっていますので、若い年代では本を読む人の割合が低いと言えそうです。

一方で、1か月に読む書籍の平均冊数をたずねた項目では、10代後半で2.1冊、20代で2.0冊、30代で1.7冊となっており、他の年代の平均冊数（1.7冊～1.3冊）に比べて高い値になっています。

これらのことから、若い年代では本を読まない人が多い一方、読む人はたくさん読んでいるという二極化が進んでいることがうかがえます。



若者にとって文学とは

文学とひとことで言っても、小説、随筆、紀行文、ノンフィクション、詩、俳句、短歌など、その範囲は広く捉えられます。しかし、ここではあくまでも「**芸術性の高い散文としての小説**」、いわゆる“純文学”に絞って考えてみたいと思います。

若者は文学についてどのようなイメージを抱いているのでしょうか。

— 作者が物語を通して何かを伝えるような形になっているものはすべて文学と言っていいのではないかと思います。(30代・女性)

— 文学というと「ノーベル文学賞」などを想像してしまい、何となく難しいものに感じます。(20代・男性)

— 文学というとアカデミックな感じがして、「ちょっと手に取って読んでみよう」というものとは少し違う感じがします。(20代・男性)

また「文学」は「教科書に載っているイメージ(30代・男性)」というように、エンターテインメント小説とは違って、少し敷居の高い、評価が確立した難しいもの、といった見方をされているようです。このような文学に対する考え方は若者に限らず広く一般にも言えることだと思います。



夏目漱石
「ココロ」
(新潮社)

1914年(大正3年)に発表された長編小説。近代化した社会における人間のエゴイズムを追求した漱石の代表作。現代でも読まれ続けている作品。

「読むべき本」などない？

かつての日本には教養として読んでおくべき文学作品というものが存在したように思います。例えば、日本では夏目漱石や森鷗外の作品、海外のものだとトルストイやドストエフスキーなど、誰もが一度は名前を聞いたことがあるような文豪の作品は「当然読むべきもの」として認知されていたのではないのでしょうか。

— 以前は「これは読んでおくべき」という作品もあったのですが、そういった基準では本は選びません。あくまでも自分の価値観に合ったものを読みます。(30代・男性)

今回、話を聞いていく中で、本をよく読む人とあまり読まない人の両方から同じような話を聞きました。このことから、「**読んでおくべき**」という価値観自体が、**今の若者にはなくなっている**のではないかと考えられます。

実際に話を聞く限りでは、漱石や鷗外などかつて文学の典型として読まれていた作家の作品は、いまの若者にはあまり読まれていないようでした。

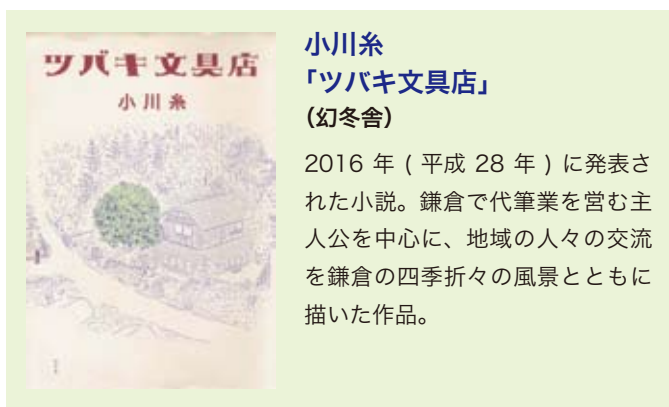
何を読んでいるのか

— 現代小説をよく読みます。最近は小川糸さんや梨木香歩さんの作品を好んで読みますが、作品によって文体が変わってくると読まなくなったり、いままで読んでいなかったような作家でも自分の感性に合

えば一通り読んだりします。(30代・女性)

—あまり量を読んだわけではないですが、北杜夫さんや村上春樹さんの小説が好きです。(20代・男性)

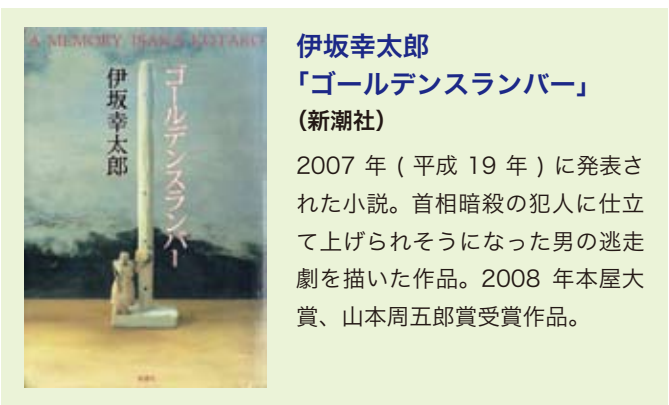
—伊坂幸太郎さんや浅田次郎さん、村上龍さんの作品が好きで、手に取るのは彼らの作品が多いです。「小説」が好きというよりも、彼らの作品が好きという感じです。(30代・男性)



小川糸
「ツバキ文具店」
(幻冬舎)

2016年(平成28年)に発表された小説。鎌倉で代筆業を営む主人公を中心に、地域の人々の交流を鎌倉の四季折々の風景とともに描いた作品。

好んで読む本として挙げられた中には、「文学」に分類できる作品も含まれているようでした。「文学は難しいもの」という意識がある一方、あまり「文学」というものを意識せずに読んでいるという印象を受けました。若者にとっては「文学」と「エンターテインメント」の垣根がなくなって、自分の好みによって読む本を決めている、という傾向がみられました。



伊坂幸太郎
「ゴールデンランパー」
(新潮社)

2007年(平成19年)に発表された小説。首相暗殺の犯人に仕立て上げられそうになった男の逃走劇を描いた作品。2008年本屋大賞、山本周五郎賞受賞作品。

マンガを読むということ

少し視点を変えて、普段マンガを読むか、読むとしたらそれは小説を読むこととどのような違いがあるのかを聞いてみました。

—小説を読むということとマンガを読むということの間には、読むのにかかる時間が違うというだけで特に隔たりは感じません。「物語を消費する」という意味ではほとんど同じように思います。(30代・女性)

—マンガを読むことと小説を読むことは同じではないと感じますが、では何が違うかと聞かれると、読むのにかかる時間くらいしか思いつきません。ただ、うまく言えませんが何か違うという感じはします。(20代・男性)

これらのコメントからもうかがえるように、何か違うような気がするにしても、**小説(文学)とマンガ(サブカルチャー)の線引きが不明瞭になっている**ように感じられます。

～むすび～

「文学」から「ブンガク」へ

今回のインタビューでは次のような傾向が明らかになりました。

- ①「文学」は「難しいもの」と感じている
- ②「読むべきもの」としての「文学」は既に存在しない
- ③自分自身の興味に沿って本を選んでいる
- ④マンガを読むことと小説を読むことの違いを感じなくなっている

これらの傾向から、これまで語られてきた「文学」はその輪郭を失いつつあることが見えてきました。純文学とエンターテインメント小説はもとより、マンガなどのサブカルチャーとの境界すら曖昧になってきているということです。

今回、特集として「若者とブンガク」を取り上げました。「文学」を「ブンガク」としたのは、これまで「文学」として語られてきたものが、いわゆるサブカルチャーの領域と重なってきているのではないか、いわば「文学」から「ブンガク」への変容が起こっているのではないかという予測があったからです。それは、インタビューを進める中で確信へと変わっていきました。

いまの「文学」はある時代まであった「文学」とは大きく異なっていると考えます。あるいは、「文学」はその役割を終えつつある、と言えるのかも知れません。しかし、従来の「文学」の枠組みを超え、周辺領域も巻き込んだ新しい形の「ブンガク」として多くの人に受け入れられていくのではないのでしょうか。

「多様化」が生み出す不透明さ

インタビューをしていく中で、ひとつづつ気になってきました。それは、自分の好きな本や音楽などについて、周囲の人と話すことがないということです。

―世間に娯楽は溢れているし、個人の価値観も多様化しているので、あえて職場で自分の好きな音楽や本のことを話題にすることはありません。(30代・男性)

―身近な人に影響を受けて本を読んだり、読んだ本について誰かと話をするということはありません。(30代・女性)

これは、語るべき優れた文学作品や音楽などがなくなっているということではなく、むしろあまりにも多様な作品が生み出されているため、自分の好みがどこまで他人と共有できるのかが不透明になっている、というのが実情のようです。

また、インターネットの進化はまるで井戸を深く掘り進むように、自分の好きなものや興味のあるものだけを追い求めてしまうことを可能にしました。そのため、個人個人が何かに詳しくなることはあっても、そこに共通の話題を見つけるのが難しい状況を生み出しているようです。

時代を代表する作家の登場や誰もがその内容を知っているような文学作品がなくなりつつあるように見えるのも、そういった環境の変化による影響があるのかもしれない。

漱石でも村上春樹でもなく

漱石や村上春樹に代表されるように、ある作家の出現が時代を象徴する、という時代は終わったように見えます。



昨年、お笑い芸人の又吉直樹が書いた「火花」が芥川賞を受賞し 200 万部を超えるベストセラーとなりました。今年もロックバンド「クリープハイプ」のボーカル尾崎世界観が書いた「祐介」が話題となっています。

このことから、多様化する読者の好みに対応して、従来の「文学」の枠には取まり切れない世界を描く才能が求められている、と言えるのかも知れません。漱石でも村上春樹でもなく、新しい時代に応じた多彩な才能の出現によって「ブンガク」は進化していく、今回の特集を通してそのように考えました。

この特集が多くの人のために文学について考え、若者について考え、さらには現代社会について考えるきっかけになればと思います。



又吉直樹
「火花」
(文藝春秋社)

2015年(平成27年)お笑い芸人・又吉直樹が書いた芥川賞受賞作。お笑い芸人の心の内を古風とも言える描写で表現しているにも関わらず、若者を中心に 200 万部以上の売り上げを記録。



尾崎世界観
「祐介」
(文藝春秋社)

2016年(平成28年)ロックバンド「クリープハイプ」のボーカル尾崎世界観が書いた自伝的小説。主人公の憎悪と嫌悪感に満ちた生活をエッジの効いた文体で描く話題作。

編集後記

今回「若者とブンガク」という特集を組んだため、久しぶりに「文学」について議論をしました。こんなに真剣に身近な誰かと「文学」について語り合ったのは学生時代以来です。当時は村上春樹がデビューしたばかりで、彼の新作が出ると書店へ走り、2～3日後には研究室で論じ合っていた記憶が甦ります。読書というと、どうも個人的で自己完結型の趣味と受け取られがちですが、誰かと読書体験を共有して語り合うのはいいものです。そういう「文化」が拡がりを見せれば、奥行きのある、より成熟した社会へと向かうのではないのでしょうか。そうなることを切に願っています。(O)

人は一生のうちにどれくらいの本を読むのでしょうか。そして、その中にその人の心を打つような作品はどれくらいあるのでしょうか。日頃からたくさん本を読む人でも、そのような素晴らしい作品に出合うということはそう多くないかもしれません。

世の中に本は無数にあって、人生には限りがあります。まさに本との出会いも「一期一会」と言うことができるでしょう。本を読む人にも読まない人にも、「心に残る作品」が1つでもあったとすれば、もちろんその人の人生にとってかけがえのない事ですし、作品にとっても「冥利に尽きる」というものではないのでしょうか。あるいは、それが「ブンガク」の存在価値なのかなと、特集を通して何となく考えました。(K)

登録文化団体イベントカレンダー

平成28年
10月・11月・12月

第4回 ジョイントコンサート Yo-ko の会

10/16 (日) 14:00~16:00

場所：アルカス大ホール

主催：花の森コーラス コールトワニーリリコ・コーロ

料金：800円

☎ 23-8953 中島

平成28年度(第51回) 岳陽会秋季吟道(剣舞)大会

10/16 (日)

場所：佐世保市民文化ホール

主催：公益社団法人 日本詩吟学院認可岳陽会

料金：無料

☎ 28-1005 西

第24回 筍和会かな書作展

10/27 (木) ~ 10/30 (日)

場所：島瀬美術センター

主催：かな書道研究筍和会

料金：無料

☎ 47-3833 梅本

演劇ワークショップ

10/30 (日)

場所：佐世保市民文化ホール

主催：佐世保子ども劇場

料金：1,000円

対象：1～6年生

☎ 22-6747

演劇公演

11/5 (日)

場所：佐世保市民文化ホール

主催：演劇集団ヤングアクターズ

料金：有料

☎ 080-5245-8835 前田

コール・ハピネスコンサート

11/19 (土)

場所：佐世保市民文化ホール

主催：コールハピネス

料金：無料

☎ 31-0091 山田

<20周年記念> 佐世保シティ音楽連盟 第15回 定期演奏会

11/19 (土) 18:00~20:00

場所：アルカス中ホール 主催：佐世保シティ音楽連盟

料金：当日 一般1,200円 学生600円

前売 一般1,000円 学生500円

☎ 49-2285 中島 38-4641 桑原

伸声会合唱団第19回定期演奏会

11/27 (日) 14:00~16:00

場所：佐世保市民会館

主催：伸声会合唱団

料金：無料

☎ 49-2178 新谷

「はぐれ峠のわらい鬼」

12/3 (土)

場所：アルカス イベントホール

主催：佐世保子ども劇場

料金：会員無料、親子3,500円

☎ 22-6747

平成28年度 温習会

12/4 (日) 12:30~15:30

場所：レオプラザホテル佐世保

主催：(公財) 日本民謡協会 民謡つくも会

料金：無料

☎ 22-8710 山口

平成28年8月1日現在で登録されている文化団体からいただいた情報を掲載しています。

市内施設 文化イベントカレンダー

※市内施設の利用予定行事のうち、主催者に確認をいただいた情報を掲載しています。

施設： **A** アルカス **大** 大ホール **中** 中ホール **イ** イベントホール **交** 交流スクエア **市** 市民会館 **文** 市民文化ホール
島 島瀬美術センター **コ** コミュニティセンター **入** 入場料： **無** 無料 **有** 有料

開催日	行事名	施設	入場料	主催	問い合わせ先
10/1	歌謡フェスティバル	島	無	歌謡フェスティバル実行委員会	090-5286-6647
10/1～10/3	ふるさとの小さな鉄道展	島	無	沖 順二	090-2078-1759
10/1～10/3	富永弧舟 古稀記念書画展	島	無	富永 純則	38-8126
10/2	第 38 回 佐世保市民芸術祭	A	有	佐世保文化協会	33-3160 (柴田)
10/4	Hiroimi Go Concert Tour 2016 NEW WORLD	A大	有	(株) 鈴木企画	092-285-4864
10/5～10/11	高齢者カルチャークラブ作品展	A交	無	ドリームケアセンター趣味の会	23-3332
10/6	ランチタイムコンサート Vol.12 ～トランペットの博覧会～	A中	有	アルカス SASEBO	42-1111
10/6～10/16	第 61 回長崎県美術展覧会 佐世保会場	島	有	長崎県、長崎県教育委員会、長崎県美術協会 長崎県文化団体協議会	095-825-6058 (県庶務局)
10/8	赤いくつバレエ佐世保教室発表会	市	無	赤いくつバレエスタジオ	095-845-5633
10/9	佐世保 JAZZ at アルカス SASEBO2016	A大	有	佐世保 JAZZ 実行委員会	25-1170 (JAZZ SPOT いーぜる) 42-1111 (アルカス SASEBO)
10/9	レジェンドメンバーによるソロコンサートシリーズ 吉田知明ソロコンサート・・・うたことば・・・ 内田智一ソロコンサート・・・こいうた・・・	Aイ	有	レジェンド / 西日本文化交流会	39-3055 (西日本文化交流会)
10/9	佐世保三曲協会演奏会	コ	有	三曲協会	58-5572 (西川)
10/11	ハワイアンミュージックと魅惑のフラダンス	A大	有	アルカス SASEBO/MIN-ON NCC 長崎文化放送	42-1111 (アルカス SASEBO)
10/16	第 4 回 ジョイントコンサート Yo-ko の会	A大	有	花の森コーラス / コールワニー リリコ・ユーロ	38-5982 (淵野)
10/16	シャンソン発表会	Aイ	無	荒木 陽一	39-5132 (松田)
10/16	平成 28 年度 (第 51 回) 岳陽会秋季吟道 (剣舞) 大会	文	無	公益社団法人 日本詩吟学院認可岳陽会	28-1005 (西)
10/16～10/17	若年性 認知症 啓行の歌	A交	無	心と言葉を結ぶ啓行の会	32-8879 (中倉)
10/18～10/24	第 22 回 光葉会 絵画展	A交	無	光葉会	33-6537 (永淵)
10/19～10/23	まんが・イラスト展	島	無	まんがQ	070-5412-2318 (中山)
10/19～10/24	第 3 回 森達郎 画家が見たヨーロッパの写真展	島	無	森 達郎	090-3665-4073
10/20	春野恵子氏講演会	A大	会員制	公益社団法人 させぼ夢大学	25-9555
10/20	琴城流大正琴佐世保支部 第 6 回演奏会	コ	無	琴城流大正琴佐世保支部	28-1885 (松尾)
10/21～10/23	聿心会書作展	島	無	聿心会	23-7545 (岸川)
10/21～10/30	荒木幸史 [秋櫻] の世界 2016	島	無	コスモスファンタジー	090-9560-7170 (馬場)
10/22	第 35 回 聖和音楽のつどい	A大	有	聖和女子学院	22-7380
10/22	徳育推進フォーラム	コ	無	佐世保徳育推進会議 佐世保市	23-2856 (事務局)
10/23	佐世保市シルバーセンター九十九会交流会	コ	無	シルバー人材センター 九十九会	080-5211-0730 (吉岡)
10/23	劇団民藝「バウンティフルへの旅」例会	市	会員制	佐世保市民劇場	22-5294 (事務局)
10/25～10/28	やすらぎ荘 水墨と表装自作展	A交	無	やすらぎ荘 水墨クラブ	090-5386-1326 (木戸)
10/26～10/30	rinnomori 妖精がいる場所	島	無	rinnomori	090-1164-8213 (村井)
10/26～11/6	2つの日本遺産展	島	無	観光課、社会教育課	24-1111 (川副)
10/27～10/30	第 24 回 筍和会かな書作展	島	無	かな書道研究筍和会	47-3833 (梅本)
10/29～10/30	させぼ文化マンス	A	無(一部有料)	させぼ文化マンス実行委員会 (アルカス SASEBO 内)、佐世保市	42-1111
10/29～11/3	仏像彫刻展	島	無	佐世保仏像彫刻会	28-6203 (山邊)
10/30	島村楽器音楽教室発表会	コ	無	島村楽器	42-0220 (前田)
10/30	演劇ワークショップ	文	有	佐世保子ども劇場	22-6747
11/2～11/4	盆栽展	島	無	佐世保盆栽同好会	090-2718-6636 (北島)
11/2～11/7	夢幻の中国水墨画・切り絵画展	島	無	張 香芹	090-3662-9193
11/3	ヤマハミュージックコンサート 2016	A中	無	(株) ヤマハミュージックリテイニング 長崎店 佐世保センター	22-2251
11/3	親和銀行プレゼンツ「KTN 寄席 春風亭小朝独演会」	市	有	KTN テレビ長崎	095-827-3400
11/4～11/6	鶏鳴書道展	島	無	鶏鳴書道展	23-3447 (池田)
11/5	第 41 回 稗田音楽教室 発表演奏会	A中	無	稗田音楽教室	31-4516
11/5	演劇公演	文	有	演劇集団ヤングアクターズ	080-5245-8835 (前田)
11/5～11/6	第 33 回 中部地区公民館文化祭	コ	無	中部地区自治協議会、中部地区公民館	25-2360
11/5～11/13	“あの素晴らしいギターの音色をもう一度”～我々の心に深く刻まれたフォークソング～	島	無	あの頃僕たちは若かった～フォーク大集 2016 ～今日までそして明日から～実行委員会	090-7392-2495 (黒松 19 時まで) 090-8228-1780 (田代 20 時以降)
11/6	團 伊玖磨「西海讃歌」&「筑後川」IN 佐世保 2016	A	無(一部有料)	させぼ文化マンス実行委員会 (アルカス SASEBO 内)、佐世保市	42-1111
11/6	音楽発表会	Aイ	無	山口・北島・畑野	24-7592 (山口)
11/6	第 13 回佐世保かっちゃん落語会	市	有	佐世保かっちゃん落語会実行委員会	32-0888 (事務局)
11/8	佐世保市中学校音楽発表会	A大	無	佐世保市教育委員会	68-3577 (浅子小・中学校 三浦)
11/10～11/13	平成 28 年度第 1 回長崎県立波佐見高等学校美術・工芸科 卒業制作展	島	無	長崎県立波佐見高等学校	85-3440 (岩永)
11/11～11/13	平成 28 年度長崎県高等学校総合文化祭 (しおかぜ祭)	A	無	長崎県高等学校文化連盟	095-800-6656
11/12	劇団カッパ座佐世保公演「雨の贈りもの」	市	有	劇団カッパ座佐世保カッパ友の会	22-9090(友の会)
11/12～11/13	尚朴書道会競書展	島	無	尚朴書道会	47-6143 (岩崎)
11/13	箏コンサート	文	無	五葉会	31-7062 (牧山)
11/13	ウォーキング&ゲームラリー大会	市	無	NPO法人チームフォーバイフォー	46-2121 (井本)

※平成 28 年 8 月 1 日時点で確認できた情報を基に掲載しております。日時や内容等に変更が生じる場合もあります。

※次ページへ続きます

市内施設 文化イベントカレンダー

施設： **ア** アルカス **大** 大ホール **中** 中ホール **イ** イベントホール **交** 交流スクエア **市** 市民会館 **文** 市民文化ホール
島 島瀬美術センター **コ** コミュニティセンター 入場料： **無** 無料 **有** 有料

開催日	行事名	施設	入場料	主催	問い合わせ先
11/13	カラオケ発表会	コ	無	スナック木かげ	090-1194-7835
11/15	宮川彬良氏・米良美一氏講演会	ア大	会員制	公益社団法人 させぼ夢大学	25-9555
11/15	第32回 幼児のための「音楽と動きのつどい」	アイ	無	長崎短期大学	47-5566
11/16～11/27	教師と生徒の美術コラボ展	島	無	馬場 忍	25-2480
11/17	第49回佐世保市老人福祉大会 第37回佐世保市老人演芸大会	市	無	佐世保市、佐世保市老人クラブ連合会	24-1111 (健康づくり課) 22-5788 (市老連)
11/17～11/18	第42回 佐世保市小学校音楽発表会	ア大	無	佐世保市立小学校教育研究会	66-9401 (猪調小 石橋)
11/18	ランチ&ナイトタイムコンサート リュートと歌う SONGS	ア中	有	アルカス SASEBO	42-1111
11/19	<20周年記念> 佐世保シティ音楽連盟 第15回 定期演奏会	ア中	有	佐世保シティ音楽連盟	49-2285(中島) 38-4641(桑原)
11/19	コール・ハピネスコンサート	文	無	コールハピネス	31-0091 (山田)
11/19～11/26	森絵画教室作品展	ア交	無	森絵画教室	090-3665-4073 (森)
11/20	2016 うえたにピアノ教室発表会	ア中	無	うえたにピアノ教室	47-4636
11/20	ヤマハミュージックフェスティバル 2016	アイ	無	園ヤマハミュージックリテイリング 長崎店 佐世保センター	22-2251
11/23	第41回 佐世保市P連音楽祭	市	無	佐世保市 PTA 連合会	22-9914 (長嶺)
11/25	アルカス SASEBO 文化茶話「人形浄瑠璃の見方・愉しみ方」	アイ	有	アルカス SASEBO	42-1111
11/26	クリスマス折紙ツリー点灯式&アルカス SASEBO ロビーコンサート Vol.62	ア	無	アルカス SASEBO	42-1111
11/26	ロカビリーカーニバル	文	有	増本 建吾	090-9727-3535 (西本)
11/27	第23回 ミュージックコンサート	ア中	無	poco-a-poco Music	090-7394-1789 (三苫)
11/27	第7回 大人の音楽発表会 (ピアノ・エレクトーン・サクソ・歌)	アイ	無	ミュージッククラブ	28-1104 (松丸)
11/27	伸声会合唱団第19回定期演奏会	市	無	伸声会合唱団	49-2178
11/27	カラオケ睦会 三十周年発表会	コ	有	カラオケ睦会	31-1882 (畠江)
11/27～12/2	第17回「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」	ア交	無	佐世保海上保安部	31-6003
11/30～12/4	第16回萌会日本画展	島	無	萌会	090-3196-5285 (古田)
12/1～12/4	KOTO and YOU 彩・纏	島	無	相浦 琴子	090-9402-8721
12/1～12/4	第9回日韓親善交流書展	島	無	県美術協会書部	47-3833 (梅本)
12/2～12/5	明るい選挙啓発ポスター及び書写入賞作品展示会	島	無	佐世保市選挙管理委員会	24-1111 (吉永)
12/3	レジデンス弦楽四重奏団 アルカス・クァルテット 第6回定期演奏会	ア中	有	アルカス SASEBO	42-1111
12/3	「はぐれ峠のわらい鬼」	アイ	有	佐世保子ども劇場	22-6747
12/4	PIARA ピアノコンクール	アイ	無	PIARA 佐世保I支部	56-3235 (濱崎)
12/4	マンドリンコンサート	文	無	ローリエ・マンドリン・アンサンブル	33-1065 (山本)
12/4	第10回パレエ発表会	市	有	佐世保パレエソサエティ鈴木クラス	24-5052 (鈴木)
12/5～12/9	平成28年度 第41回かべ新聞コンクール作品展	ア交	無	佐世保市子ども会育成連絡協議会	76-7374
12/7	宝塚歌劇宙組全国ツアー公演 <主演>朝夏まなと	ア大	有	アルカス SASEBO/西九州プロモーション	42-1111 (アルカス SASEBO)
12/7～12/11	懐かしの映画ポスター展～西部劇特集～	島	無	佐世保シネマクラブ	25-4903 (本田)
12/8～12/11	謙慎書道会九州沖縄展	島	無	謙慎書道会九州沖縄展実行委員会	22-6728 (相川)
12/8～12/11	長崎県立佐世保東翔高等学校 美術卒業制作展	島	無	長崎県立佐世保東翔高等学校	38-2196 (西永)
12/9	音楽の絵本ふくおかフィナンシャルグループ PRESENTS 親子で楽しむクラシックコンサート in 佐世保	ア中	無(要申込)	ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団	23-3606 (親和銀行)
12/10	第47回 定期演奏会 ギター・マンドリンコンサート	ア中	無	長崎県立大学ギター・マンドリン部	080-5208-0949 (久保)
12/11	ピアノ演奏会	ア中	有	アマトゥール ドピアノ	090-5286-6256 (井上)
12/11	荒久田貞子 すみれ舞踊まつり	アイ	有	すみれ舞踊会	32-3030 (荒久田)
12/11	ヤマハエレクトーン フェスティバル	コ	無	古川楽器店	24-4321 (沖田)
12/14～12/19	九重町・佐世保市合同展	島	無	佐世保美術振興会	080-5212-9083(大村)
12/15	齋藤孝氏講演会	ア大	会員制	公益社団法人 させぼ夢大学	25-9555
12/16	綾小路きみまろ 笑撃ライブ	ア大	有	(株)鈴木企画	092-285-4864
12/16	前進座「切られお富」例会	市	会員制	佐世保市民劇場	22-5294 (事務局)
12/16～12/18	長崎県高等学校総合文化祭 書道展	島	無	長崎県高等学校文化連盟書道専門部	49-2528 (佐世保西高校・嶋田)
12/18	第51回歳末チャリティコーラスコンサート	市	有	長崎県合唱連盟佐世保支部	090-3985-3530 (浦川)
12/18	「菊の会」45周年記念 箏曲演奏会	コ	有	菊の会	48-3810
12/18	ゼロソー「父と暮らせば」(作:井上ひさし)	ア大	有	ゼロソー/アルカス SASEBO	42-1111 (アルカス SASEBO)
12/18～12/20	MOA 美術館 長崎県児童作品展 佐世保地方展	ア交	無	MOA 美術館 長崎県児童作品展 実行委員会	22-1882
12/23	アルカス「キラっ都」させぼファミリーコンサート	ア大	有	アルカス SASEBO	42-1111
12/23～12/24	第50回カワイ音楽コンクール(ピアノ部門)	ア中	無	カワイ音楽教室	22-6879
12/23～12/25	長崎県高等学校総合文化祭 第12回 県写真展	島	無	長崎県高等学校文化連盟写真専門部	49-2528 (佐世保西高校・植野)
12/24	Polaris (ポラリス) コンサート 2016	ア大	無	長崎県立佐世保北中学校・高等学校	22-4105
12/25	スマイルコンサート vol.4	市	無	佐世保工業高等学校	090-2966-4506 (金森)
12/25	オペラ「ヘンゼルとグレーテル」日本語抜粋上演	文	有	長崎県新演奏家協会	080-4281-5298 (森山)

※平成28年8月1日時点で確認できた情報を基に掲載しております。日時や内容等は変更が生じる場合もあります。